

| 今月の不動産経済 (平成30年6月)

● 不動産業の動向

		前月比
不動産業景気動向指数 (DI) <sup>*1</sup>	51.1 p	0.1 p ↑
		前年同月比
不動産業の倒産状況 <sup>*1</sup>	15 件	△ 42.3 % ↓
負債総額 <sup>*1</sup>	1,297 百万円	△ 87.9 % ↓

● 新設住宅着工数

		前年同月比
新設住宅着工・総数 <sup>*2</sup>	81,275 戸	△ 7.1 % ↓
持家	25,148 戸	△ 3.4 % ↓
貸家	34,884 戸	△ 3.0 % ↓
分譲	20,281 戸	△ 18.8 % ↓
内マンション	8,253 戸	△ 36.2 % ↓

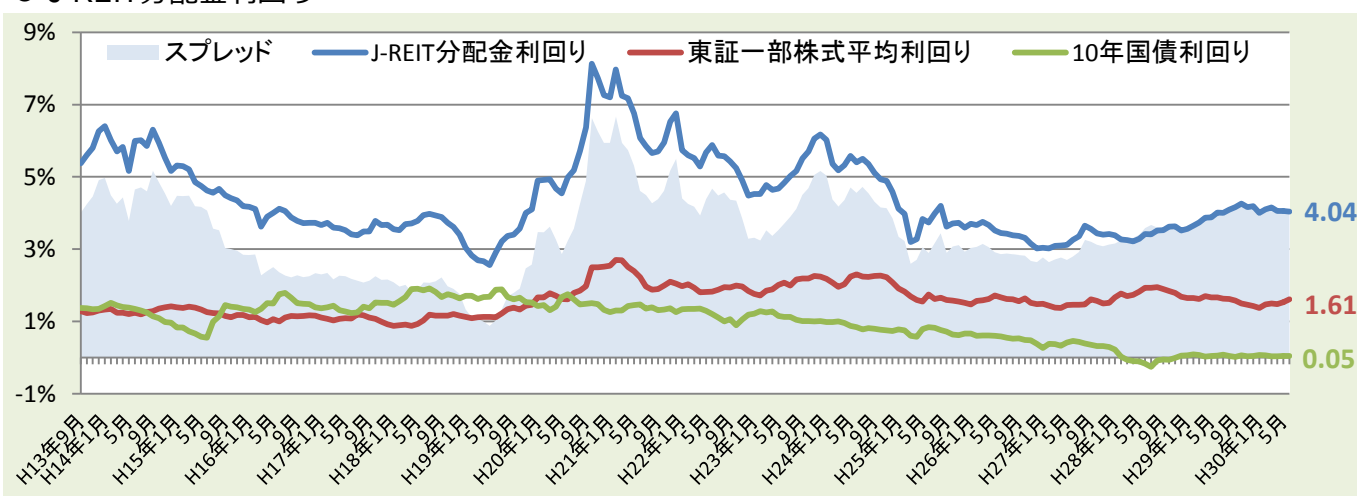
● マンション市場の動向

		前年同月比
新築・供給戸数 (首都圏) <sup>*3</sup>	2,659 戸	16.4 % ↑
[契約率]	[66.0%]	△ 1.2 p ↓
新築・供給戸数 (近畿圏) <sup>*3</sup>	1,211 戸	△ 8.3 % ↓
[契約率]	[75.6%]	△ 4.6 p ↓
中古・成約件数 (首都圏) <sup>*4</sup>	3,336 戸	△ 0.7 % ↓
平均価格	3,320 万円	5.0 % ↑
[㎡単価]	[51.9万円]	4.6 % ↑
中古・成約件数 (近畿圏) <sup>*4</sup>	1,537 戸	5.3 % ↑
平均価格	2,201 万円	10.5 % ↑
[㎡単価]	[32.4万円]	10.2 % ↑
居住用賃貸物件成約数 (首都圏) <sup>*5</sup>	16,781 件	△ 6.3 % ↓

● オフィス市場の動向

		前年同期比 (賃料) / 前月比 (空室率)
オフィス賃料 (都心5区) <sup>*6</sup>	20,108 円	6.6 % ↑
オフィス空室率 (都心5区) <sup>*6</sup>	2.57 %	△ 0.11 p ↓

● J-REIT分配金利回り<sup>\*7</sup>



不動産業の業況感は前月比 0.1P改善し 51.1pとなった。景気判断の分かれ目の50を8ヶ月連続で上回った。

新設住宅着工数は、3ヶ月ぶりに前年同月比減。

首都圏の新築マンション供給戸数は、前年同月比 16.4%増。3ヶ月ぶりに前年同月比増。契約率は、同 1.2pダウンの 66.0%。

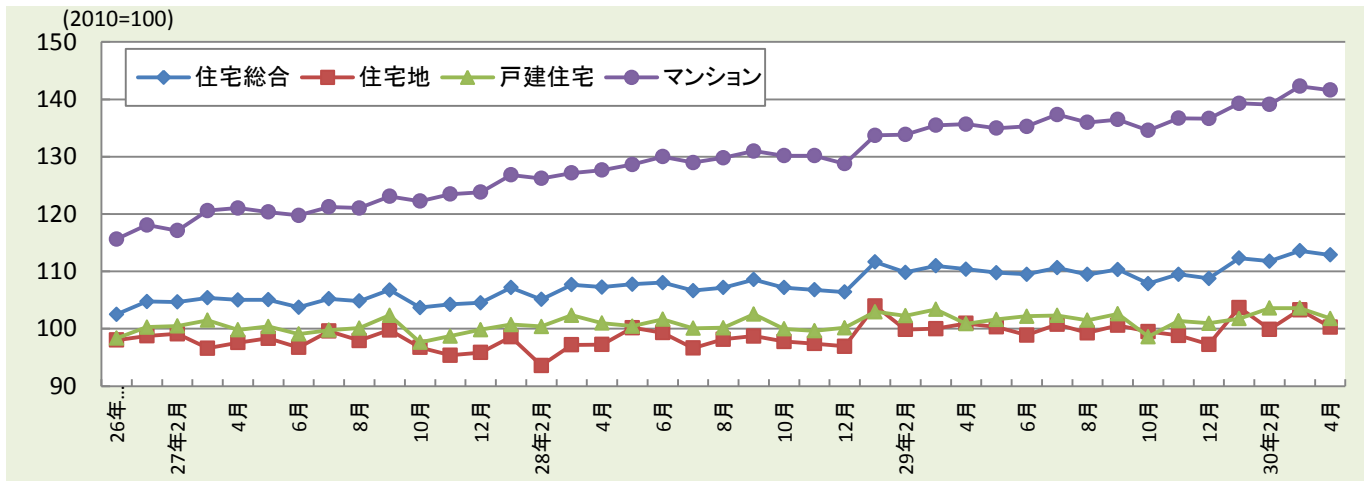
近畿圏の新築マンション供給戸数は、同 8.3%減。2ヶ月連続で前年同月比減。契約率は、同 4.6pダウンの 75.6%。

首都圏の中古マンション成約件数は 2ヶ月連続で前年同月比減。

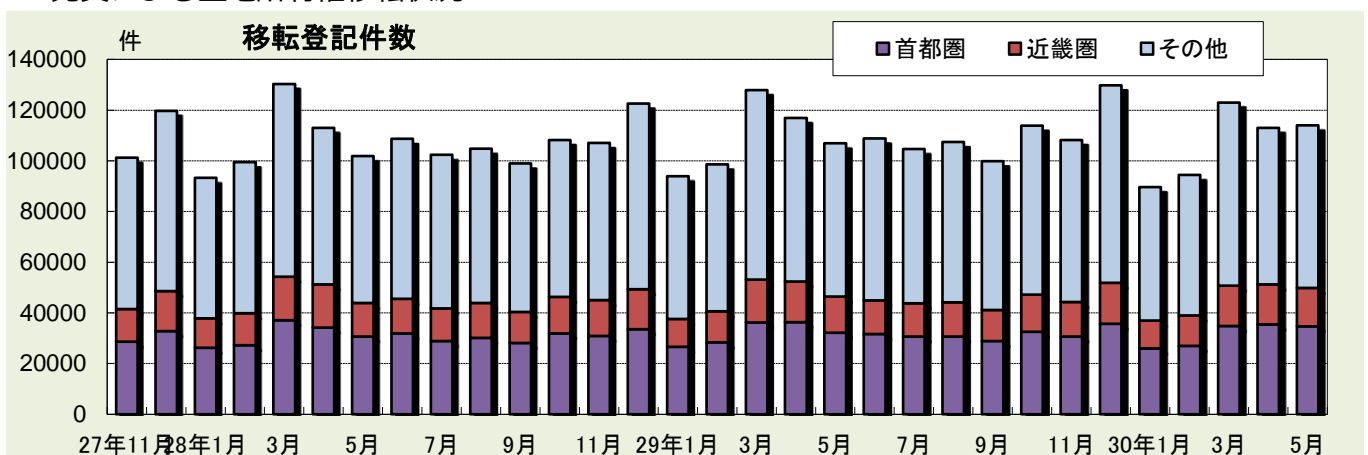
近畿圏は 4ヶ月ぶりに前年同月比増。

都心5区のオフィス空室率は、2ヶ月ぶりに前月比低下。

● 不動産価格指数<sup>\*2</sup>



● 売買による土地所有権移転状況<sup>\*8</sup>



\*1 帝国データバンク (DIは0~100、50が判断の分かれ目)

\*2 国土交通省

\*3 不動産経済研究所

\*4 不動産流通機構

\*5 アットホーム

\*6 三鬼商事

\*7 不動産証券化協会、東京証券取引所、財務省 (スプレッド = J-RIET分配金利回り - 10年国債利回り)

\*8 法務省

[今月の不動産経済](#)

[時系列データ \(excel\) ダウンロード](#)